

## ■ MPC-3000 (SH2A) BL/I 2.01\_49 2021/02/25

- MMC処理でエラーリターンした場合、MMC使用中のフラグがクリアされず次のMMCコマンドを実行できない不具合を修正。
- 周辺ボード用BUSサイクルでCSアイドルタイムを1クロック増やした(バスサイクルのマージンを増やすため)

## ■ MPC-3000 (SH2A) BL/I 2.01\_49 2021/02/24

- MMCカード使用時間タイムアウト 15秒 → 60秒 に変更。
- Telnet LOADは、MMCがあっても MMCを使用しないでオンボードのFLASHを使用するようにした。
- MMC\_SAVE毎に最後の行が欠ける不具合を修正。

## ■ MPC-3000 (SH2A) BL/I 2.01\_48 2021/02/17

- MMC カード扱い変更  
初期化手順を整理、また、MMC カードが挿入されていると MMC\_card Mounted と冒頭で表示、無い場合は、No MMC\_card。  
当初、都度初期化が良いと考えたが、現状は初期化が不統一にあちこちにあってかえってタイミングにより不具合がでるものと推察された。

## 変更後

- インターフェース初期化はパワオン時に実施し、その後はインターフェース初期化を行わない。
  - FILES コマンドも初期化を行わず、カード抜きが検出された場合にのみ初期化を実施し、MMC\_card Mounted の表示が現れる。
  - カードパワオン後挿入、あるいは途中でカードを交換した場合には MMC (0) もしくは FILES でカードのインターフェース初期化を実施。
  - セマフォを設けて、複数のタスク(実行中のコマンドライン実行も相当)の同時実行を調停。また実行中の CTRL A でも MMC 処理は中断させないようにした。
  - MMC の扱いで 15 秒以上のサスペンドが生じた場合 MMC ホールトをエラーを出力。
  - プログラム実行中の CAT は頭 20 行のみの表示。
- エラーコード
 

86 「MMC カードがありません」	カードが抜かれている
92 「MMC マウントされてません」	カード交換後。この場合は、MMC (0) もしくは FILES の実行が必要。
93 「MMC ホールト」	なんらかの事情で MMC カードが反応せず、処理が進まなくなった。

- デバッグ用関数機能

dmy=MMC (-1) インターフェースハードウェアのみの初期化  
dmy=MMC (-2) MMC システム全体の再初期化

## ■ MPC-3000 (SH2A) BL/I 2.01\_47 2021/02/10

- MMC追加機能  
dmy=MMC (-3) i2C初期化  
dmy=MMC (-4) i2C - SD 初期化  
dmy=MMC (-5) デバドラ初期化